

事業所名

まほろ朝霞台

支援プログラム

作成日

令和7年

1月

31日

法人（事業所）理念		感謝を増やし幸せをつくる		
支援方針		ダメと言わない療育の実施。 自立を絶対あきらめない支援を行う。 ひとりの「人」として関係を持つこと。		
営業時間		平日 14時半～17時半、短縮 11時半～17時半 土曜 10時～16時	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	排泄トレーニングや手洗い、歯磨き、身だしなみ等と基本的な生活習慣を学べる場の提供。 靴の管理、衣服の着脱、個人の荷物の管理など、身の回りの事が一人で行えるように支援する。 食事のマナーや水分摂取を自発的に行えるように支援する。 日々の健康管理を意識し、児童の健康状態のチェックをする。		
	運動・感覚	室内運動用具を使用している粗大運動など、粘土・シール・ブロック等で手指の微細運動など、目や手や体を一緒に動かす練習を行う。 玩具を捜査して楽しみながら、目や手の協応を促す。 児童個々に必要な筋力向上トレーニングや姿勢（体幹強化）等のトレーニングを行う。		
	認知・行動	行動の切り替えや終わりなど、児童個々にあった示し方（絵カードや身振り手振り等）で児童が認識できるように支援し、自ら行動に移せる環境を作る。 活動を通して個数や色、大きさの理解や力のコントロールができるように支援を行う。 時計を読んだり、タイマーで次の活動までの間隔を身に着けたり、時計に興味を持たせる。時間の感覚と時間で活動が切り替えができるように支援する。 活動を通して興味の幅を広げることができるような環境を作る。		
	言語 コミュニケーション	デイでの生活や遊びを通し、自分の伝えたい事・手伝って欲しい事の伝え方等児童の特性に合わせて言葉・絵カード・ジェスチャー等でコミュニケーションが取れるように支援する。 友達との遊びを通して、遊びを創造する、協力・協調、相手の立場を思いやる気持ちを育む。また、問題解決力、我慢したり譲り合う経験を身に付けさせる。 文字を読む・書く・音読等の学習支援。		
	人間関係 社会性	まずはスタッフとの信頼関係構築から入り、家以外の場所にも安心できる場所があることを認識してもらう。その後スタッフが間に入りつつ、他の児童との関りを通して「他者」がいる生活を知る機会を与える。集団活動の中で他者との間にルールがあることを伝える、また他者との適切な距離感が図れるように支援する。		
家族支援		親子の愛着関係の安定への助言 障害特性に応じた家庭環境への助言・配慮	移行支援	他放課後デイと並行利用する場合における利用先との連携 様々な場所で習得した行動を、デイや家でも同様の行動が起こせることを目指した連携。
地域支援・地域連携		学校や保育所、医療機関との連携や調整	職員の質の向上	事業所内研修、外部研修の実施 療育や制度に関する事業所内スタッフミーティングの定期開催
主な行事等		季節ごとのイベント、食育に関するイベント、運動に関するイベント、外出イベント、誕生会、音楽療法&ボイストレーニング、避難訓練（火災・地震・水害 年2回）等		